

平成28年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	市政協同
議員名	我妻静夫・古澤孝市・徳中嗣史・金濱元一・早川昇三・南川達彦 鈴木和彦・黒光ひさ
調査実施年月日	平成28年10月19日(水)
調査先 自治体名等	兵庫県姫路市消防局予防課
調査項目	①市内の防災体制・防災組織について 消防団・自主防災組織について ②姫路市消防防災運動会「まもりんピック姫路」について
調査目的	大規模災害に備え、市民と消防が一体となり、楽しみながら「防災の知識・技術」と「共助の力」を育成するとともに、地域防災力の強化と防災意識の普及・啓発を推進している内容を調査する。
報告内容 実施したこと	①姫路市+受託町(消防局受託) 基本情報 人口 58万人：面積 86万㎡：世帯数 25万世帯 姫路市標準財政規模 1102億円：平成28年度消防予算 70億円 消防団 8団 72分団 定員 3,226人 自主防災組織 785組織 933自治会(結成率 100%) ②「まもりんピック姫路」開催経費は会場設営等委託料、報償費、需用費等で約700万円の予算確保 ○事業を行うに至った経緯は、楽しみながら習得できる催しにという市民意見によるとの事 ○平成18年度に職員手作りのプレ消防防災運動会を開催し、翌年、東京工業大学特任教授に依頼し、平成20年に考案した競技種目で第一回目開催となる。以降、隔年で開催 ○事業実施前後での市民の防災意識の変化については 自主防災組織の訓練状況において 平成18年度 501対象 参加人数 20,668人 平成27年度 1,584対象 参加人数 69,451人 となつて10年で3倍強となり、訓練等に対する積極的な参加や自主的な取り組みなど、防災に対する意識が高くなり、アンケート調査では、防災に対して共助の気持ちが醸成されて地域と一体感ができた、訓練に比べて楽しくできるなどの意見多く寄せられている。 ○企業との連携については 第3回までは競技や防災クイズに賞品等を提供してもらい、第4回は多くの企業チームの参加を得たそうである。
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	①「まもりんピック姫路」の説明を受けた時、「防災はその街の成熟度を表す」と聞き室蘭市はまだまだと感じた。だが、室蘭にも「むろらんピック」運動会があるので、その時に防災の競技も取り入れることは可能なので提案してゆきたい。 ② 民間防災組織に幼年消防クラブ(4・5歳対象)が52もあり、防災を考える事は幼い時から重要なので、取り入れたいと思う。

